2015年
入試用

八王子学園八王子
中学校・高等学校

日時	2014年　5月22日（木）　10時30分～11時30分
所在地	八王子市
会場	講堂
対象	塾
出席者数	約250名
配付資料	中学・高校学校案内、中学・高校「H.26 入試塾対象結果報告会資料」、中・高スライドレジュメ、中学過去問（声教）、H25.高校入試問題など。

説明会の概要

あいさつ　佐藤校長　10：30～10：40

- 中学では、2013年より8名多い91名の入学生を迎えることができました。教育理念である「人格を尊重しよう　平和を心に培おう」をモットーに、社会で活躍できる「有為な人材」を育成しています。学校生活を明るく活発に過ごすなかで、将来への夢を持つ大切さを教えています。
- 高校では、文武ともに実績を出してくれました。2014年春の大学合格実績では、国公立大31名、早慶上智大60名、MARCH213名、日東駒専211名で、やや安定志向の傾向は見られたものの健闘しました。
- 部活動では、陸上・水泳部がインターハイに、男子バスケット部がウインターカップに出場しました。吹奏楽部は全日本アンサンブルで銀賞に入りました。
- ここ3年間で新人の先生が11名入り、ともに生徒たちの成長を支えています。

中学校の様子　国分教頭先生　10：40～10：50

- 中学は2014年の入学生を迎え、いよいよ全学年がそろい、充実した学校生活を送っています。まだ高校ほどの知名度はありませんが、6年間かけて高校の文理特進の生徒と並ぶ学力のある生徒にすることを目標として指導しています。それとともに、行事・部

活動などにも積極的に参加し、中高６カ年で人間的にも大きく成長することを望んでいます。

●３年間の授業時数は公立中学校より約 840 時間多く、教科書も中高一貫用の難しいものを使用しています。さらに現在の中３生は、第２ステージ（中３・高１）で先取り学習に入りました。勉強についていけるか心配でしたが、生徒たちは授業をしっかり受け、部活動への参加率も 95%と文武両道で頑張っています。生徒たちは自分の夢を実現することを目標とし、勉強など大変なことも強い精神力で乗り越えています。「勉強は大変でも、学校は楽しい」と言っているのは、教師として嬉しいことです。現在、中３生は夏の 13 日間オーストラリア語学研修に行く準備を進めています。

中学入試及び変更点について

募集担当副責任者　吉村先生 10：50～11：10

＜2014 年入試＞

●2014 年は延べ数で最も多い受験者数となりました。周辺地域からまんべんなく受験生を集めることができ、2014 年は特に横浜線沿線からの受験者が増えました。今後、中央線沿線、三鷹・吉祥寺辺りからも増えてほしいと思っています。中学校はいまだに認知度が低い状況で、まずは、学校説明会に来てもらうことを切に望んでいます。

●併願校が多岐にわたっていることの理由の一つに、本校の入試問題が難問奇問ではなく、オーソドックスなものだからと考えられます。また、2014 年から２／２午後入試で特別奨学生選抜試験を設けたこともあり、高いレベルの学校との併願が見られました。
また、併願ながら２／１午前・午後と受けている受験生もいました。２／１午前入試を受けることの加点優遇で午後入試の合格を確かなものとして、午後入試の入学手続きは遅いこともあって、都立中受験を第一志望とする場合です。どのような場合でも、ぜひ多くの受験生に本校の入試を受けていただきたいと思っています。

●２／２午後の特待選抜入試では、128 名が受験し、約３割にあたる 36 名に特待合格を出しました。そのうち６名が入学し、今後生徒たちの学習の核となる存在になることを期待しています。

●2014 年入学生 91 名のうち男子 59 名、女子 32 名ですが、男女別の人数調整は行っていません。男子の受験者が多い分、合格も多くなっているということで、今後女子の受験者も増えてほしいと願っています。

＜2015 年入試＞

●2015 年入試日程は、2014 年と変更ありません。
受験料は初回２万円で、２回目以降各１万円です。
２／２午後入試で特待生となった場合、は入学金と１年間の授業料を免除いたします。
全４回の入試の難易度は変わらず、合否の点数は変わりません。２／２午後入試で特待生の合格点に及ばなかった場合でも、一定の点数を取ればスライド合格となります。
望まれる特待生のレベルは、穎明館中あたりを合格するような力のある生徒です。

兄姉が本校に在籍している場合、入学金の免除があります。
２／１午前入試を受験すると、２度目の入試からボーダーラインで優遇します。２／２入試では特待生での優遇では行われず、スライド合格での場合のみに適用されます。

＜変更点など＞

●2013 年度より英語・数学において、中２では３クラス４展開した習熟度別，中３・高１では習熟度別クラス編成を行います。高２からは高入生と同様、文理別クラスとなります。

●キャリア教育として、「キミが主役プロジェクト」を立ち上げました。中学生の「なぜ勉強するのか」「大学へ行くのか」という疑問に対し、真剣に時間を使って自問自答する機会を設けました。中１で学ぶこと、中２・３で働くことの意味について体験を通して考えます。中３では大学訪問を通じて、大学に行く意味を考えます。さらに今後、発展したものにしていきたいと思っています。

高校入試変更点

高校　小山教頭先生　11：10～11：30

●各学年 12 クラスを予定していましたが、2014 年入試は歩留まりがよく、1 学年は 13 クラスでのスタートとなりました。しかし、受験者数は 2013 年 1,947 名→2014 年 1,878 名に減少しました。理由として、神奈川県立高が推薦廃止をしたことで、入試相談しても 30 点加点優遇では確約とならないため、敬遠されたかと考えられます。また、都立「三北」などの上位校が高倍率となり、確約する併願校を求める傾向があったようです。入学した生徒たちの学力のレベルは、変わっていません。
入試当日に併願校のアンケートを取りますが、各コースの併願校の状況により、ボーダーラインを決めています。

●2015 年度の変更点

１．コースを３コースに改編し、より習熟度別を明らかにした、それぞれの適性を伸ばすものとしていきます。新年度コース編成（「３コース３クラス３類系」）での募集は、以下のとおりです。
文理特進コース（２クラス）、
進学コース：文理選抜クラス（２クラス）、文理進学クラス（３クラス）、
総合進学クラス（２クラス→進学系／音楽系／美術系）
アスリートコース（１クラス）　合計 10 クラス募集

２．**推薦入試を廃止し、一般入試のみで第一志望・併願受験**とします。第一志望でも、中学でしっかり勉強してもらいたいと思っています。

３．高校自体の学則定員は 310 名となります。2015 年度より内進生 120 人分が加わるので、2014 年 430 名→2015 年 310 名に変更となります。
しかし、**募集定員は 10 クラス 400 名**としたいので、若干の定員減少としました。

●コース変更した理由は、現在の文理特進、文理進学コースにおいて、文理進学の上位層

へも満足できるような学習体制をつくりたいからです。新年度の文理選抜クラスは文理特進コースと同じ授業体制で実施します。アスリートコースは、より東京オリンピックで活躍できるような、プライドを持った生徒の育成を考えています。総合進学クラスでは、進学・音楽・美術の選択によりさまざまな適性の生徒がいるクラスを編成します。

- 「第一志望」は確約をしないと言っても、内申点をクリアしていれば、ほぼ確約されたのと同じ状況です。今までの「推薦 A 入試」が「第一志望」になったと考えてもらって良いです。そのうえで、2／10・11 の入試まで力をつけておいてください。
  併願での内申点をクリアしていれば、30 点加点するということの変更はありません。
- 入試相談では、内申への加算ポイントがあります。全コースとも英検・漢検・数検の３級以上で、９科に最大１ポイント加点されます。また、総合進学・アスリートは体育・音楽・美術の評定５に１ポイント、さらに関東大会レベルに出場した場合に１ポイントと、最大合計３ポイントが加点されることになります。
- 「チャレンジ合格＋スライド合格」については、文理特進・文理選抜・文理進学のコース・クラス間のみで実施します。総合進学・アスリートでは実施しません。
- 詳細は９月の説明会にてお知らせします。今回は、変更点の報告とします。
- 【変更点】　中学入試→（なし）
  高校入試→コース改編・推薦入試廃止・高校学則定員 310 名（上記記載）

説明会の雰囲気・印象

- 資料などを見ながら、先生の話もポイントを押さえた形で述べられ、わかりやすかったです。高校の入試変更点が大きいものでしたが、来年中入生が入ってくることによる体制を整えている感じがしました。より活気のある変化が期待されます。

学校周辺の環境

- 線路は近いですが、電車の音はあまり気になりません。駅からまっすぐ八王子よりに歩いて、商店街から閑静な住宅街に入ります。交差点・校門の２箇所に交通整理の係りの人がいて、安心して通学できます。

交通

- JR 中央線 西八王子駅から徒歩５分